

大学の世界展開力強化事業 中間評価調書記入要領

大学の世界展開力強化事業 中間評価調書

「中間評価関係書類等の作成・提出について」に記載している中間評価の整理番号
(事務局にて転載済)

大学等名 (○が代表大学)	大学名 (事務局にて転載済)	整理番号	↓
主たる交流先	主たる交流先 (中南米諸国又はトルコ) (事務局にて記載済)		
事業名	事業名【和文】 (事務局にて転載済)	事業責任者の氏名及び所属部局等の名称・職名を記入してください。	
学長名			
事業責任者	(氏名) ○○ ○○ (職名) 大学院○○○研究科・教授 (交替年月日) 平成○○年○月○日		
取組学部・研究科等名	計画調書の【基本情報】取組学部・研究科等名からの転載 (事務局にて転載済)		
相手大学名 (国名)	①		
	②	計画調書の【基本情報】海外の相手大学からの転載	
	③	(事務局にて転載済)	
	④		
	⑤	海外相手大学追加調書を提出している場合は、追加した相手大学名(国名)を、 計画調書から転載した海外の相手大学名に続けて記入してください。 (記入例を参照)	
	⑥		
	⑦		
	⑧	()	
	⑨	○○大学 (○○○)	追加調書提出済
	⑩	()	
	⑪	追加した相手大学名の記入例	
	⑫	()	
	⑬		
	⑭	複数年度分の報告書等を提出する場合は、「備考」欄に年度を必ず 記入してください。(記載年度が西暦の場合は西暦で可)	
	⑮		
参考資料一覧	資料名	備考	
	1 大学の世界展開力強化事業 事業結果報告書	平成27年度 平成28年度	
2	参考資料がない場合は、「資料名」欄に「-」と記入してください。		

事務担当者	(氏名) ○○ ○○	(職名) ○○○部△△課・課長
連絡先	(住所) 〒	事務担当者の氏名及び所属部局等の 名称・職名を記入してください。
	(電話番号)	

※中間評価調書の内容等について連絡のとれる事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名を記入してください)。

また、連絡先E-mailについては、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

全てのページに「代表大学名」及び「主たる交流先」を記入してください。

(大学名:) (主たる交流先:)

事業の目的・概要及び交流プログラムの内容

① 事業の目的・概要等（計画調書からの転載）【1ページ以内】

【事業の目的及び概要】

計画調書の【①事業の目的・概要等】からの転載
(事務局にて転載済)

【養成する人材像】

交流学生数については、本調書内の以下の数値において齟齬がないよう注意して作成してください。

- 【事業の目的・概要及び交流プログラムの内容】の「【本事業で計画している交流学生数】」
- 【進捗状況の概要】の「【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】」
- 【2. 目標の達成状況】の「②本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」
- 【2. 目標の達成状況】の「③本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」
- 【2. 目標の達成状況】の「④交流する学生数について」

海外相手大学追加調書がない場合の記入例

海外相手大学追加調書の提出がある場合の記入例

【本事業で計画している交流学生数】 ※各年度の派遣及び受入合計人数（交流期間、単位取得の有無は問わない）

	平成21年度		平成30年度		平成31年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
合計人数	人	人	15人	10人	20人	10人
申請時の計画調書記載人数	人	人	15人	10人	15人	10人
海外相手大学追加調書分	人	人	-	-	5人	0人

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。

申請時の計画調書に記載した人数の転載
(事務局にて転載済)

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください（複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入）。提出がない場合は、「-」を記入してください。「人」は不要です。

(大学名 :

) (主たる交流先 :

)

② 事業の概念図 (計画調書からの転載) 【1ページ以内】

計画調書の【②事業の概念図】からの転載
(事務局にて転載済)

③ 国内大学等の連携図 (計画調書からの転載) 【1ページ以内】

計画調書の【③国内大学等の連携図】からの転載
(事務局にて転載済)

進捗状況の概要 【1ページ以内】

【進捗状況の概要】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の進捗状況、成果または発展への課題等について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。その際、本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」などの記載は認められません。）

また、本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※1ページ以内（文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。）

中間評価までの交流学生数について、平成27年度及び平成28年度の計画と実績を記入してください。

計画については、海外相手大学の追加により、計画した交流学生数に変更が生じている場合は、変更後の人数を記入してください。（変更がない場合は、申請時の計画調書に記載した人数を記入してください。）

なお、本調書内の以下の数値との齟齬がないよう注意して作成してください。

【2. 目標の達成状況】の「②本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」

【2. 目標の達成状況】の「③本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」

【2. 目標の達成状況】の「④交流する学生数について」

【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】

平成27年度				平成28年度			
派遣		受入		派遣		受入	
計画※	実績	計画※	実績	計画※	実績	計画※	実績
人	人	人	人	人	人	人	人

※海外相手大学を追加している場合は、追加による交流学生数の増加分を含んでいる。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ以内】

【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。その際、本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」などの記載は認められません。）なお、適宜図表等を用いて作成いただいて構いません。また、本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※1ページ以内（文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。）

中間評価までのアクティビティ 【1ページ以内】

平成 年 月

平成 年 月

採択後から平成28年度末までの当該事業に係るアクティビティについて、年月及び内容を、実施時期の早い順に記入してください。

また、平成29年度のアクティビティのうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。

なお、必要に応じて、採択前（平成27年4月～事業開始）のアクティビティを記入してもかまいませんが、それらは中間評価の対象とはなりません。

記入する場合は、下記を参考に採択前のものであることを明示してください。

※1ページ以内

（採択前のアクティビティを記入する場合）

中間評価までのアクティビティ 【1ページ以内】	
平成27年4月
平成27年7月
	（以上、採択前のアクティビティ）
平成27年12月

1. 取組状況	
① 交流プログラムの内容 【3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【事業の目的・概要及び交流プログラムの内容】 ④交流プログラムの内容 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成29年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることが分かるように記入してください。 また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。 ※【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

（大学名： ）（主たる交流先： ）

--	--

(大学名 :) (主たる交流先 :)

--	--

② 質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成 【(1)、(2)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 交流プログラムの質の保証について	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成】</p> <p>①交流プログラムの質の保証について</p> <p>②相手大学（相手国）のニーズを踏まえた大学間交流の展開からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成29年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「簡条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

--	--

(2) 相手大学 (相手国) のニーズを踏まえた大学間交流の展開

【実績・準備状況】

【平成28年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

なお、平成29年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることが分かるように記入してください。

また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【計画内容】

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名 :

) (主たる交流先 :

)

③ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備 【(1)～(3)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 外国人学生の受入のための環境整備	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備】</p> <p>①外国人学生の受入のための環境整備</p> <p>②日本人学生の派遣のための環境整備</p> <p>③関係大学間の連絡体制の整備 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成29年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名：) (主たる交流先：)

(2) 日本人学生の派遣のための環境整備

【実績・準備状況】

【計画内容】

【平成28年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

なお、平成29年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることが分かるように記入してください。

また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名 :) (主たる交流先 :)

(3) 関係大学間の連絡体制の整備

【実績・準備状況】

【計画内容】

【平成28年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

なお、平成29年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度取組状況であることが分かるように記入してください。

また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名 :

) (主たる交流先 :

)

④ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及 【(1)～(4)合わせて3ページ以内】

申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 事業の実施に伴う大学の国際化	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及】</p> <p>①事業の実施に伴う大学の国際化</p> <p>②事務体制の強化</p> <p>③事業の実施、達成・進捗状況の評価体制</p> <p>④国内外への情報提供の方法・体制</p> <p>からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成29年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

(2) 事務体制の強化	
【実績・準備状況】	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成29年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
【計画内容】	<p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
	<p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
(3) 事業の実施、達成・進捗状況の評価体制	
【実績・準備状況】	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成29年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
【計画内容】	<p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
	<p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

	<p>【取組状況における課題点】</p> <p><small>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「<u>箇条書き</u>」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
<p>(4) 国内外への情報提供の方法・体制</p>	
<p>【実績・準備状況】</p>	<p>【平成28年度末までの取組状況】</p> <p><small>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</small></p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成27年度の採択後から平成28年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成29年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることが分かるように記入してください。 また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
<p>【計画内容】</p>	<p><small>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「<u>箇条書き</u>」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

⑤ 留意事項への対応 【1ページ以内】	
審査結果表〔留意事項（改善を要する点、留意すべき点）〕※経費面を含む	留意事項への対応状況
<div data-bbox="226 464 983 603" style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>審査結果表に記載されている〔留意事項（改善を要する点、留意すべき点）〕（当該大学にのみ開示）からの転載 （事務局にて転載済）</p> </div>	<div data-bbox="1137 260 1921 284" style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> <p>【平成28年度末までの取組状況】 * 対応が遅れている場合は、その背景や事情等を説明すること。</p> </div> <div data-bbox="1137 331 2007 643" style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>左記の内容に対応する平成27年度の採択後から平成28年度末までの当該事業に係る取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成29年度を取組状況のうち、左記の内容に係る対応で積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度を取組状況であることが分かるように記入してください。 また、留意事項への対応が遅れている場合は、その背景や事情等を説明してください。 ※【平成28年度末までの取組状況】と【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p> </div> <div data-bbox="1137 986 1883 1010" style="background-color: #e0e0e0; padding: 2px;"> <p>【今後の展望】 * 対応が遅れている場合は、遅れを取り戻すための今後の対応を記入すること。</p> </div> <div data-bbox="1137 1034 1984 1209" style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>上記の取組状況を踏まえた、今後の展望について記入してください。 また、留意事項への対応が遅れている場合は、遅れを取り戻すための今後の対応を記入してください。 ※【平成28年度末までの取組状況】と【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p> </div>

（大学名： ）（主たる交流先： ）

2. 目標の達成状況	
① 中間評価までの達成目標 【(1)～(4)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 養成しようとするグローバル人材像について	
<p>(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）</p> <p>計画調書の【達成目標】</p> <p>①養成しようとするグローバル人材像について</p> <p>②-1学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした学生数の推移について</p> <p>②-2学生に修得させる具体的能力のうち、「②-1」以外について</p> <p>③質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について</p> <p>からの転載（事務局にて転載済）</p>	<p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）</p> <p>【平成28年度末における目標の達成状況】</p> <p>左記(1)の内容のうち、 <u>【(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）】</u> に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p><small>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</small></p> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
<p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）</p>	

(大学名：) (主たる交流先：)

(2) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした学生数の推移について	
<p>(i) 外国語力基準及び基準を定めた考え方</p> <p>(ii) 事業計画全体の達成目標及び達成までのプロセス（事業開始～平成31年度まで） （※複数の基準を設けている場合は、それぞれの目標を明示すること）</p> <p>(iii) 中間評価までの達成目標及び達成までのプロセス（事業開始～平成28年度まで） （※複数の基準を設けている場合は、それぞれの目標を明示すること）</p>	<p>(iii) 中間評価までの達成目標及び達成までのプロセス（事業開始～平成28年度まで） 【平成28年度末における目標の達成状況】</p> <p>左記(2)の内容のうち (iii) 中間評価までの達成目標及び達成までのプロセス（事業開始～平成28年度まで） に対応する達成状況について、出来る限り、申請時の目標と対比させて具体的・客観的なデータ（外部で実施されている資格試験等の成績結果等）をもとに分かりやすく記入してください（実績値を明記してください）。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p><small>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</small></p> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
(3) 学生に修得させる具体的能力のうち、「(2)」以外について	
<p>(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）</p> <p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）</p>	<p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで） 【平成28年度末における目標の達成状況】</p> <p>左記(3)の内容のうち (ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで） に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名：) (主たる交流先：)

	<p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</p> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
<p>(4) 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について</p>	
<p>(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）</p> <p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）</p>	<p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）</p> <p>【平成28年度末における目標の達成状況】</p> <p>左記(4)の内容のうち <u>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）</u> に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</p> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :

) (主たる交流先 :

)

それぞれの達成目標について、記入してください。海外相手大学追加調書を提出している場合は、追加分を含む人数（下の内訳表の合計）を記入してください。

海外相手大学追加調書を提出している場合、申請時の計画調書に記載した人数を転載してください。提出がない場合は、「-」を記入してください。「人（延べ数）」は不要です。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

② 本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移 [2ページ以内]

平成27年5月1日現在／本事業の取組単位（学部等）の人数 人

(i) 日本人学生数の達成目標

事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）	人（延べ数）
うち申請時の事業計画全体の達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	人（延べ数）
中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）	人（延べ数）
うち申請時の中間評価までの達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	人（延べ数）

[上記の内訳]

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計人数	人				
申請時の計画調書記載人数	人				
海外相手大学追加調書分	人				
単位取得を伴う派遣学生数	(人)				
申請時の計画調書記載人数	(人)				
海外相手大学追加調書分	(人)				
上記以外	(人)				
申請時の計画調書記載人数	(人)				
海外相手大学追加調書分	(人)				

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください（複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入）。提出がない場合は、「-」を記入してください。「0」や「人」は不要です。

※記入方法については、次ページの記入例も参照してください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

計画調書の【達成目標】

④本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移からの転載（事務局にて転載済）

日本人学生数の目標の達成状況

事業計画全体の達成状況（事業開始～平成31年度まで）	人（延べ数）
中間評価までの達成状況（事業開始～平成28年度まで）	人（延べ数）

グレーの網掛け部分には記入しないでください。

[上記の内訳]

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計人数	人	人			
単位取得を伴う派遣学生数	(人)	(人)			
上記以外	(人)	(人)			

左記の「中間評価までの達成目標」に対する、平成28年度末における数値実績を記入してください。派遣実績については、平成26年10月30日付け事務連絡「国際化拠点整備事業費補助金及び政府開発援助国際化拠点整備事業費補助金における海外に留学する「日本人学生数」の定義について（改定）」に基づき人数を算出してください。

【平成28年度末における目標の達成状況】

左記の内容に対する、平成28年度末における目標の達成状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

※日本人学生数の目標の達成状況（表）、【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

(大学名：) (主たる交流先：)

海外相手大学
追加調書がない場
合の記入例

(i) 日本人学生数の達成目標

事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）	105人（延べ数）
うち申請時の事業計画全体の達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	—
中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）	15人（延べ数）
うち申請時の中間評価までの達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	—

【上記の内訳】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計人数	5人	10人	20人	30人	40人
申請時の計画調書記載人数	5人	10人	20人	30人	40人
海外相手大学追加調書分	—	—	—	—	—
単位取得を伴う派遣学生数	(5人)	(8人)	(18人)	(28人)	(38人)
申請時の計画調書記載人数	(5人)	(8人)	(18人)	(28人)	(38人)
海外相手大学追加調書分	—	—	—	—	—
上記以外	(0人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
申請時の計画調書記載人数	(0人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
海外相手大学追加調書分	—	—	—	—	—

海外相手大学
追加調書の提出が
ある場合の記入例

(i) 日本人学生数の達成目標

事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）	113人（延べ数）
うち申請時の事業計画全体の達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	105人（延べ数）
中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）	17人（延べ数）
うち申請時の中間評価までの達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	15人（延べ数）

【上記の内訳】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計人数	5人	12人	22人	32人	42人
申請時の計画調書記載人数	5人	10人	20人	30人	40人
海外相手大学追加調書分	0人	2人	2人	2人	2人
単位取得を伴う派遣学生数	(5人)	(10人)	(20人)	(30人)	(40人)
申請時の計画調書記載人数	(5人)	(8人)	(18人)	(28人)	(38人)
海外相手大学追加調書分	(0人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
上記以外	(0人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
申請時の計画調書記載人数	(0人)	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)
海外相手大学追加調書分	(0人)	(0人)	(0人)	(0人)	(0人)

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。
なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。
※日本人学生数の目標の達成状況（表）、【平成28年度末における目標の達成状況】
【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。
※日本人学生数の目標の達成状況（表）、【平成28年度末における目標の達成状況】
【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

(大学名：) (主たる交流先：)

それぞれの達成目標について、記入してください。海外相手大学追加調書を提出した場合は、追加分を含む人数（下の内訳表の合計）を記入してください。

海外相手大学追加調書を提出した場合、申請時の計画調書に記載した人数を転載してください。提出がない場合は、「-」を記入してください。「人（延べ数）」は不要です。

③ 本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移 【2ページ以内】

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

平成27年5月1日現在／本事業の取組単位、(学部等)の人数 人

(i) 外国人学生数の達成目標		
事業計画全体の達成目標（事業開始～平成31年度まで）		人（延べ数）
うち申請時の事業計画全体の達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）		人（延べ数）
中間評価までの達成目標（事業開始～平成28年度まで）		人（延べ数）
うち申請時の中間評価までの達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）		人（延べ数）

外国人学生数の目標の達成状況		
事業計画全体の達成状況（事業開始～平成31年度まで）		人（延べ数）
中間評価までの達成状況（事業開始～平成28年度まで）		人（延べ数）

グレーの網掛け部分には記入しないでください。

左記の「中間評価までの達成目標」に対する、平成28年度末における数値実績を記入してください。

【上記の内訳】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計人数	人				
申請時の計画調書記載人数	人				
海外相手大学追加調書分	人				
単位取得を伴う受入学生数	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
申請時の計画調書記載人数	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
海外相手大学追加調書分	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
上記以外	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
申請時の計画調書記載人数	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
海外相手大学追加調書分	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください（複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入）。提出がない場合は、「-」を記入してください。「0」や「人」は不要です。

※記入方法については、前ページの記入例も参照してください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

計画調書の【達成目標】
 ⑤本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移
 からの転載（事務局にて転載済）

【上記の内訳】

	平成27年度	平成28年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
合計人数	人	人	人	人	人
単位取得を伴う受入学生数	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
上記以外	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)

【平成28年度末における目標の達成状況】

左記の内容に対する、平成28年度末における目標の達成状況について、具体的に分かりやすく記入してください。
 ※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【平成28年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

（大学名： ）（主たる交流先： ）

④ 交流する学生数について【国内大学等数及び交流プログラム数に応じたページ数】

※④は国内連携大学等数及びプログラム数に応じたページ

計画調書に記載した交流学生数を記入してください。(数字を入力すると自動的に「〇名」と記入されます。)海外相手大学追加調査の提出がある場合は、追加分を含む交流学生数を記入してください。

(i) 計画調書で計画した交流学生数

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
各年度の事業計画全体の派遣及び受入合計人数(交流期間、単位取得の有無は問わない)。	5名	3名	12名	5名	22名	5名	32名	5名	42名	5名

(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数の計画と実績

- ① 単位取得を伴う交流期間3ヶ月未満の交流人数、 ② 単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流人数
- ③ 上記以外の交流期間3ヶ月未満の交流人数、 ④ 上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流人数

派遣・受入それぞれの(計画)を計画調書から転載してください。海外相手大学追加調査の提出がある場合は、追加分を含む交流学生数に修正するか、行を追加し交流プログラム(相手大学)を増やしてください。

1. 【代表申請大学】

大学名	交流プログラム名(相手大学名)	交流方向	平成27年度		平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度					
			第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
〇〇大学	〇〇交流プログラム	派遣(計画)			1	1			3	1			3	1			3	1			3	
		派遣(実績)			1	1			2													
		受入(計画)			2	1			3	1			3	1			3	1			3	
		受入(実績)			2	1																
■ ■ 大学		派遣(計画)		3		3		3		8		8		13		13		18		18		
		派遣(実績)					1				1				1				1			
		受入(計画)			1				1				1			1				1		
		受入(実績)			1																	
3		派遣(計画)																				
		派遣(実績)																				
4		受入(計画)																				
		受入(実績)																				

派遣・受入それぞれの(実績)について、平成28年度末までの状況を上に示した記号を交流期間の長さに合わせて貼り付け、その中に交流人数を記入してください。その際、本書内に記入した実績数と一致するようにしてください。派遣実績については、平成26年10月30日付け事務連絡「国際化拠点整備事業費補助金及び政府開発援助国際化拠点整備事業費補助金における海外に留学する「日本人学生数」の定義について(改定)」に基づき人数を算出してください。

交流プログラム(相手大学)の数や国内連携大学等数に応じて適宜様式(表・行)の追加等を行ってください。

2. 【国内連携大学等】

大学等名	交流プログラム名(相手大学名)	交流方向	平成27年度		平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度					
			第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
△△大学	〇〇交流プログラム	派遣(計画)																				
		派遣(実績)																				
		受入(計画)																				
		受入(実績)																				
2		派遣(計画)																				
		派遣(実績)																				
		受入(計画)																				
		受入(実績)																				

「代表大学名」と「主たる交流先」を記入してください。

(大学名:) (主たる交流先:)

補助期間における各経費の実績【年度ごとに1ページ】

(単位:千円)

計画調書に記載した年度毎の各経費の明細及び平成28年度までの実績報告書に基づき、平成28年度までの実績を記載。【年度ごとに1ページ】

＜平成27年度＞	経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
	[物品費]	5,255	0	5,255	
	①設備備品費				
	・〇〇システム一式	2,455	0	2,455	
	・視聴覚装置一式	2,800	0	2,800	
	・			0	
	②消耗品費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[人件費・謝金]	0	0	0	
	①人件費				
	・雇用等経費(特任教授)			0	
	・雇用等経費(〇〇用事務補佐員)			0	
	・			0	
	②謝金				
	・謝金(〇〇フォーラム講師謝金)			0	
	・			0	
	・			0	
	[旅費]	0	0	0	
	・国内旅費(〇〇会議、実地調査)			0	
	・外国旅費(〇〇調査)			0	
	・外国人招へい等旅費(〇〇指導)			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[その他]	8,015	0	8,015	
	①外注費				
	・			0	
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・返納	8,015		8,015	利息174円
	・			0	
	・			0	
平成27年度	合計	13,270		13,270	

「補助金額(a)」欄には補助事業に要した補助対象経費の額を、「大学負担額(b)」欄には、自己資金その他の金額を記入してください。
 平成27年度分は確定済みの額を記入し、平成28年度分は文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。
 (ただし千円単位で記入し、合計が一致するように端数調整をしてください。)
 「補助金額(a)」及び「大学負担額(b)」を記入すると、「支出実績(a+b)」、各項目の合計額及び該当年度の合計額が自動的に計算されます。
 各費目の内訳については、内容がある程度分かるように記入してください。

返納がある場合は、「[その他]⑥その他(諸経費)」欄に記入してください。

利息がある場合は「[その他]⑥その他(諸経費)」の「備考」欄に実際の利息額を円単位で記入してください。

「代表大学名」と「主たる交流先」を記入してください。

(大学名:) (主たる交流先:)

(前ページの続き)

(単位:千円)

＜平成28年度＞	経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
	[物品費]	0	0	0	
	①設備備品費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	②消耗品費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[人件費・謝金]	0	0	0	
	①人件費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	②謝金				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[旅費]	0	0	0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[その他]	0	0	0	
	①外注費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	②印刷製本費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	③会議費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	④通信運搬費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	⑤光熱水料				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	⑥その他(諸経費)				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
平成28年度	合計	0	0	0	

(大学名:

(主たる交流先:)